

- (1) 教科書の脚注(①～⑨)を読む 未然形↓未でよい
- (3) ①の例にならって、文の右側に、波線の助詞・助動詞について文法的な説明(訳や活用語など)を記入する。
- 「尊敬」の助動詞の場合は、誰から誰への敬意かを記入する。わからなければ、『体系古典文法』で調べる。(4) も同じ。
- (4) ①の例にならって、文の右側に、二重波線部の敬語について、敬語の種類、誰から誰への敬意かを記入する。
- (5) *の語の意味を辞書で調べ、傍線部の間(吹き出し部分)に答えながら、文の左側に現代語訳を記入する。

歴史物語 大鏡 貫之と躬恒 p 182～183

文法事項
など

延喜の御時に『古今』抄せ 尊 夏山繁樹↓帝 用

忠岑や躬恒などは、御書所 に 召さ 尊 繁樹↓帝

られ し折、貫之は さらなり、 ① 繁樹↓帝

② 候ひ けるほどに、四月二日なりしかば、まだ忍び音のころにて、 ③ 召し出でて、 歌仕うまつら ④ しめ 給へ ⑤ り。

⑥ 仕うまつれ。」と ⑦ 仰せ言ありしかば、 ⑧ 誰が？何に？

⑨ 誰が？何に？

現代語訳

① 候ひ けるほどに、四月二日なりしかば、まだ忍び音のころにて、 ② 興じ おはします。

貫之 ③ 召し出でて、 歌仕うまつら ④ しめ 給へ ⑤ り。

こと夏は ⑥ けむ ほととぎす この宵ばかり ⑦ あやしきぞなき

区切れはどこ？
／を入れよう。

「あやしき」ほど、どうなのか？

四段活用 〇 下二段活用？

それを ⑧ けやけき ことに思ひ 給へ しに、同じ御時、 ⑨ 御遊びありし夜、 ⑩ 御前の御階のもとに躬恒を召して、

ここから、躬恒はどのような身分と考えられるか？
〇で囲もう。 高い身分 〇 低い身分

参照↓体系古典 p123

「月を弓張といふ心は何の心ぞ。これが ⑪ 曲 仕うまつれ。」と ⑫ 仰せ言ありしかば、

帝はどのようなことを命令したのか？

照る月を弓張と^㉔し^㉕ もいふことは山辺をさしていればなり^㉖けり^㉗

掛詞「いれ」の2通りの漢字は？
(例) ふる (時間が) 経る・(雨が) 降る

参照↓体系古典 p123

誰が？

誰に？

と申したるを、^[5]いみじう感ぜ^①させ^⑦給ひて、

^[6]大桂^{*}賜ひて、

肩にうち掛くる^㉘ままに、

誰が詠んだ？

何の比喩？

白雲のこのかたにしもおりゐるは^[7]天つ風こそ吹きてきぬ^㉙らし^㉚

掛詞「かた」「おり」「きぬ」のそれぞれ2通りの漢字は？

縁語

「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」

具体的にはどのような者？

「勅」の意味は？

いみじかりしものかな。

^[8]さばかりの者に、近う召し寄せて

勅禄

賜はす^㉛

き^㉜

なぜ「そしり申す」者がいないのか？理由を二つ。

ことならねど、^㉝^[9]そしり申す人のなきも、君の重くおはしまし、

四段活用 ㍁ 下二段活用？

また躬恒が 和歌の道に許さ^㉞れ^㉟ たるこそ、思ひ^㊱給へ^㊲ しか。

※波線などの番号を振り直してます―
御前に候ふ人々も をこがましく 思ふ[Ⓐ] らむ。 おはしたらば、^{〔1〕} 関白など譲ることなど 申さむとこそ思ひ[Ⓑ] つるに。

誰が誰に関白を譲る？

具体的には？

^{〔2〕} かかればこそ 年ごろ仲らひよから[Ⓒ] で 過ぎ つれ。 あさましく安からぬことなりとて、

人とは誰か？

限りのさまにて臥し 給へ[Ⓓ] る^{〔3〕} 人[Ⓔ] の、[Ⓔ] 「かき起こせ。」と[Ⓐ] のたまへ[Ⓐ] ば、 人々あやしと思ふほどに、

誰に何がつく？

「車に装束せよ。御前[＊]もよほせ。」^{〔4〕} と[Ⓐ] 仰せ[Ⓐ] らるれば、^{〔4〕} 物のつか[Ⓐ] せ[Ⓐ] 給へ[Ⓐ] る[Ⓐ] か、

現し心もなくて 仰せ[Ⓐ] らるる かと、 あやしく 見[Ⓐ] 奉る[Ⓐ] ほどに、 御冠召し寄せて、装束など せさせ 給ひて、

内裏へ[Ⓐ] 参ら[Ⓐ] せ[Ⓐ] 給ひ[Ⓐ] て、 陣の内は[＊] 君達[＊] にかかりて、滝口の陣の方より 御前へ参らせ給ひて、

何のため？

昆明池の障子のもとに さし出でさせ給へるに、 昼の御座に、^{〔5〕} 東三条の大將、 御前に 候ひ給ふほどなりけり。

この大將殿は、堀河殿すでに失せさせ給ひ[Ⓐ] ぬ[Ⓐ] と聞かせ給ひて、内に関白のこと[Ⓐ] 申さ[Ⓐ] む[Ⓐ] と思ひ[Ⓐ] 給ひ[Ⓐ] て、

誰の？

^{〔6〕} この殿の門を通りて、 参りて申し奉るほどに、堀河殿の目をつづらかにさし出で[Ⓐ] 給へ[Ⓐ] る[Ⓐ] に、

なぜ「あさまし」と思っのか？

誰が？誰を？ち見る？

帝も大將も [1] いとあさましく思し召す。 [2] 大將は うち見るままに、 立ちて鬼の間の方に おはし [A] ぬ。

本動詞 ○ 補助動詞？

関白殿 御前に つい居 給ひ て、御気色いと悪しくて、「最後の [除目] 行ひに [1] 参りて [2] 侍り [B] つる なり。」とて、

蔵人頭 [3] 召して、関白には頼忠の大臣、東三条殿の大將を取りて、小一条の済時の中納言を大將に

なし 聞こゆる 宣旨下して、東三条殿をば治部卿になし [4] 聞こえ て出で [C] させ [5] 給ひ て、

誰が？

殿とは誰？

ほどなく [3] 失せ 給ひ [D] し ぞかし。 [4] 心意地にておはせし殿にて、 さばかり 限りに おはせ し に、

誰への？

[5] ねたさに 内裏に [6] 参り て 申さ [E] せ [7] 給ひ しほど、異人 す [F] べう も なかり し ことぞ [G] かし。

「それは」とはなつていふやうか？

本動詞 ○ 補助動詞？

[6] されば、 東三条殿 官 取り [8] 給ふ ことも、 ひとぶるに 堀河殿の 非常の御心にも [9] 侍ら ず。

ことのゆゑは、 かく [H] なり。

- (1) 教科書の脚注(①～⑫)を読む (2) 音読をする。 未然形↓未でよい
- (3) ①の例にならって、文の右側に、波線の助詞・助動詞について文法的な説明(訳、活用語など)を記入する。
- (4) *の語の意味を辞書で調べ、傍線部の間(吹き出し部分)に答えながら、文の左側に現代語訳を記入する。

日記文学 蜻蛉日記 うつろひたる菊 p 136 ～ 138

誰が？

誰が？

誰が？

「人」とは誰のこと？

正月ばかりに、
二、三日見えぬほどに、
ものへ渡ら
意志 終
むとて、
「人」来ば、とらせよ。」とて、書きおきたる、

何を？

「野にも山にも」はどこにかかるか？

「[4] 知られねば身をうぐひすのふり出で つつ なきてこそゆけ [5] 野にも山にも」

かへりごとあり、

うぐひすの あだに* 出行か ⑤ 山辺にも なく声聞かば たづぬばかりぞ

掛詞「うぐひす」「ふり出」「なき」のそれぞれ
2通りの意味は？

など言ふころより なほあらぬ ことありて、春夏なやみくらして 八月つごもりに

とかうものし ⑥ [6] そのほどの心ばへは ④ しも、ねむごろなるやうなり ④ けり。

誰の？

誰がどこから？

誰が？

さて九月ばかりになりて、
出で ① には [7] たる ほどに、箱のあるを [8] 手まさぐりに開けて見れば、

どうして「あさまし」と思ったのか？

人のもとにやら ① む としける文あり。 [9] あさましさに、見てけり と ② だに知られ ③ む と思ひて、書きつく。

疑はし ほかに渡せ ④ る ふみ見れば こ ⑤ や とだえになら ⑥ む とす ⑦ らむ

区切れば「こ」
／を入れよう。

は	「	「
「	」	」
「	」	」
「	」	」
「	」	」
「	」	」
「	」	」
「	」	」
「	」	」
「	」	」

掛詞「疑はし」「ふみ」「とだえ」のそれぞれ
2通りの意味は？

など思ふほどに、むべなう、十月つごもりがたに

[1]

三夜しきりて見えぬときあり。つれなうて、「しばし試みるほどに。」

誰の姿が？

これとは「の」に「た」

誰が？

など、けしきあり。^{*}^[2]これより、夕さりつかた、「内裏の^{*}方ふたがりけり。」とて^[3]出づるに、心得^Aで、人をつけて

係助詞「なむ」の結びの語は？

何をとめた？

見すれば、「町の小路なるそこそこになむ、^B」^[4]とまり給ひぬる。」とて、来たり。さればよといみじう心憂しと思へ^Cども、

「さ」の具体的な内容は？

言は^Dむやうも知らであるほどに、二、三日ばかりありて、暁がたに門をたたくときあり。^[5]さ^Eな^Eめり^F

と思ふに、憂くて、開け^Gさせ^Hば、例の家とおぼしき所に^{*}ものしたり。^{*}つとめて、なほもあら^Iじと思ひて、

嘆きつつ 一人寝る夜のあくるまは いかにかしきものと^Jかは^K知る

掛詞「あくる」の2通りの漢字は？

(例) ふる (時間が) 経る・(雨が) 降る

と、例よりは^{*}ひきつくろひて書きて、^{*}うつろひたる菊にさしたり。かへりごと、

兼家は何が「ことわり」であると言っているのか？

「あくるまでも試み^Kむとし^Lつれど、^{*}とみなる^M召使の来あひたりつればなむ。いと^[6]^{*}ことわりなり^Nつるは。

げにやげに冬の夜^Mならぬ真木の戸もおそくあくるはわびしかり^Nけり」

誰が？

[7]

さてもいとあやしかりつるほどに^{*}事なしびたり。しばしは忍びたるさまに、

なぜ「心づきなく」思うか？

「内裏に。」など言ひ^Oつつ^Pぞある^Qふきを、^{*}いとどしう^[8]心づきなく思ふことぞ限りなきや^R。